

丸山湿原群保全の会会報

(第 221 号)

発行日：2025 年 (R7) 12 月 17 日 編集／発行：丸山湿原群保全の会
〒669-1211 宝塚市大原野字炭屋 1-1 西谷地区まちづくり協議会事務局内

TEL/Fax 0797-91-1788

090 - 1895 - 8061 (今住)

E-mail: maruyamashitugengun@gmail.com



戦争は最大の環境破壊と、差別を生み出します

寒くなりました。霜は連日、氷も張っています。晴れた日の朝には -3°C ぐらいになっているようです。雨は相変わらず少なく、今年の総雨量（宝塚市大原野データ）は 1000mm に達しない感じです。

地理学(中国？大陸？)的には「年間降水量 1000mm 線」というのがあるそうで、年間 1000mm を境に稲作と畑作に大きく分かれるようです。もちろん 1000mm 以上が稲作。日本は複雑で線が引けず、モザイク状に。北海道は降水量が少ないのに今や米の一大産地。品種改良と灌漑技術の賜物でしょう。以前は寒さ対策の品種改良、今は暑さに強い品種を。

少雨で暑かったと言っても今年は豊作。果物類もたわわに。いったいどういう加減でこの結果が出たのか。「来年はきっとあかんで」とは友人との会話。なぜ豊作だったのかよくわからない。「農家の努力の賜物」「きめ細やかな圃場管理」と言われますが、特別なことは何もしていないのが現実では？また怒られそうですが……。高温障害（乳白米＝シラタ）も多いかと思われましたがそうでもない。米価高騰でありがたいのはありがたいですが、こちら来年はどうなるか分からない。在庫ジャブジャブとの噂も。JA 仮払金（概算金）返還もありうる？

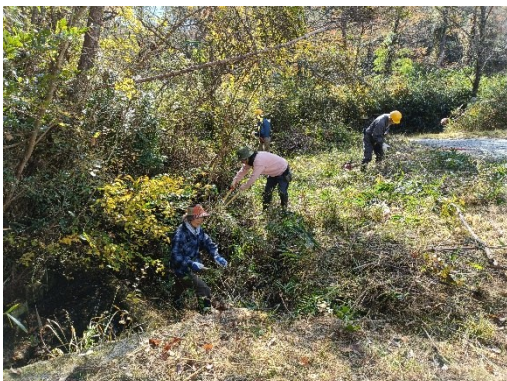
政府備蓄米は底をついたはず。どうなった？「カルロース米（ミニマム・アクセス米）」ですでに補充済みか。今年の日本米は高くて備蓄米には不向きかも。

年間降水量が 1000mm 以下になってきた地域は今後どうなっていくのでしょうか。今年のように上手くいくかいかないかは、もはや「神のみぞ知る」領域なのか。農業はやはりギャンブルか。中山間地の小農家は離農が進むでしょうね。いや自給的農家にシフトする…。今も楽しんでいる農家は自給的かも。これからの農業がどうなるのか考えてしまいます。生物多様性の受け皿としての農業も然り。

(今住 12 月 15 日作成)

定期活動 ★11 月 23 日 (日) 作業 駐車場付近整理伐採 湿原ササ刈り

9 名 (応援 1 名を含む)



左に見えている木々を伐採します 準備

なぜか久しぶりの作業です。雨や行事でサボって？いや抜けていました。今回は 11 月初めに駐車場周辺のエゴノキ(野茉莉)を巻き込んだ枯れ松倒木処理…。のつもりでしたが、邪魔になった部分は県(自治振興?)か市が処理済み。そこで、残った川に架かった部分や、枯れて倒れそうなアカマツ(赤松)、ヤマザクラ(山桜)を整理。別班で第 1 湿原のササ刈りを実施。短時間ではありますが真面目な本格的作業となりました。しかも個人参加ではありますが、「愛す会」のメンバー

も応援に。最も若い力でグイグイ作業を引っ張ってくれました。時間とともに、全く見えなかった川（水路？）が姿を現しました。以前ここは「ミニゴルフ」の敷地。（誰も覚えていませんが・・・）崩れかけの川の擁壁や、ブロック積が姿を現しました。こんなふうになっているとは・・・。初めて見る光景かもしれません。ササや蔦類もはびこっていました。その中にミツバア



絡まった蔦を引っ張る

ケビ（三葉木通）もあったのですが、また出てくるでしょう。安全に採れるようになるかもしれません。他にも何か面白いものが出てくるかも。ササもすぐ再生か。1年後は元の木阿弥かも？奥には、まだ枯れ松が数本残っています。これ进行处理するか放置するか考え中。駐車場には倒れ込まないように気もしますが、本日の作業、対岸は天然記念物の範囲外。無

断伐採になりますが県有地だと思います。昔の山林商法が入った地権者のややこしい場所も近くに。以前は冷蔵庫の不法投棄、今回はテレビのブラウン管（若い人は分からない？）が見つかりました。そっとそのまま置いてあります。

別班は少人数で湿原へ。最後のウメバチソウ（梅鉢草）が迎えてくれました。



手作業でのササ刈り取り あ～しんど



名残のウメバチソウ

湿原の本丸は種が落ちてからとして、周囲のササの刈り取りを機械を使わず手作業で。なかなか進まないのですが丁寧な作業ができます。観察もできるしね。天気も良く大変気持ちの良い作業となりました。さあいよいよ湿原内又マガヤ刈り取り作業、近しです。イノシシ（猪）が入り始め、適度？な攪乱協力体制が整いつつあります。適度やったらの話ですが・・・。怖いのはシカの動向。ササの頭は食べているようですが？わからない。

保育所シリーズ

★11月20日（木）はなみずき保育園分園

22日（土）やまぼうし保育園親子遠足 27日（木）はなみずき保育園本園

28日（金）やまぼうし保育園分園 そらとはな保育園 合同チーム

保育園シリーズ「晩秋の巻」スタート。初夏に続いてやってまいりました。児童から若いエネルギーを吸い取ってやろうと強行日程もなんのその。逆にエネルギーを吸い取られかけたものの、何とかミッションコンプリート！コースは小学校とほぼ同じで、だれが名付けたか不明の「湿原から鉄塔はげ山、見晴らしコース」。かなりのアップダウンコースです。小学校の時は食べ物豊富でしたが、今回は11月末ということで食べるものはほとんどない。園児たちは満足するだろうか？

まず最初の20日。早く集まったスタッフが目にしたのは・・・なんと「捨て猫」しかも2匹。



捨てられた ミーちゃん（仮）よっちゃん（仮）

東屋の横に寒さと飢え除けか「シーツと餌ボール」が。年齢は3～4か月？人馴れしていてすぐ寄ってくる。ガリガリに痩せていました。放置するわけにもいかず保護。その後保護団体のお世話になりました。その無責任さに怒りがこみあげてきます。保護したほうも保護団体に渡したらそれでお終いというのもおかしいので、必要な経費を少々寄付いたしました。もちろん個人負担

で。捨てた人が責任を負わず保護した側が責任を負うのも妙ですが仕方ありません。避妊手術(2頭ともメス)とワクチンなど必要な処置がなされ「さくら耳」となったようです。「さくらねこ(地域ねこ)」になるかは未定。譲渡会に出す予定だそうです。いい里親が見つければいいのですが。

関係者から聞く話の中で驚くべきことが。「両生類を食べたネコは寄生虫に侵される」。カエル(両生類)やヘビ(爬虫類)を中間宿主として「マンソン裂頭条虫」という「サナダムシ(総称)」が寄生。田園地帯の外飼い猫の3割ぐらゐは寄生されているそうです。人への感染は極めて低いそうですが、あの寄生虫がカエルから来ているとは驚きでした。今回のネコちゃんがどうかは不明ですが獣医さんの協力のもと適切に治療されているようです。関係した皆さんに感謝です。捨てた人にはさらに怒りがこみ上げてきました。

申し訳ない、保育園。 今回からは総合園長の運転する車(ハイエースロング改)の色が変わりました。



小リンゴは美味い! ほんまかいな〜 実はまだあり「すっぱ!」と言いながら食べていました。もちろんオオウラジロノキ(大裏白の木)の実(小リンゴ)も。かじった瞬間はリンゴのほのかな香りが鼻から抜けます。その後はモサモサして渋いような…「うえっ」と吐き出し。1人が食べると多くの園児がチャレンジ。「うえっ」「うえっ」とあちこちで。やはりその中でも面白い子がいるもので「おいしい〜」と。「お土産に持って帰ろ!」まで。どうぞどうぞお楽しみください。

全塗装しドレッシーに。タイヤも全天候タイプ。ホイールもかっこいい。子どもたちが出てきます。2度目の丸山湿原。やはりいきなり「食べる葉っぱある?」「枯れかけのので良ければ食べてみる?」と妙な会話が…。

コバノガマズミ(小葉英蒨)の



もはや園バスには見えません! ステキ



なぜかゴロゴロ転がっています



鉄塔に張られたシールを確認 表情がより穏やか。「安心」があるのでしょうか。しかし活動はいつもと同じ「危険」がいっぱい。「はげ山転げ落ち」「藪漕ぎ

鉄塔付近ではちょうど関電関係の方がお仕事中。「あ〜びっくりした」「よくこんなところまで登ってきたな」と驚いておられました。早速興味津々。「何をしているんですか?」の質問に「登ってはいけませんのシールを張ってます」と丁寧にお答えくださいました。

ただ2回目の親子遠足はちと園児の雰



倒木を乗り越えて

ただ2回目の親子遠足はちと園児の雰囲気。たぶんいつも許してくれてるから大丈夫でしょう。「保護者の方も一緒にどうぞ」なんですけど「はげ山転げ落ち」はさすがに誰もやられませんでした。なんでやろ?

「見晴らし場」で休憩。「金平糖」の元気玉や「バナナ」が出てきて私たちもご相伴に預かりました。**バナナ(甘蕉)**と紅葉(紅茶じゃないよ!)のコラボが素敵でした。

次は2月ごろかな? 「地獄コース」を用意してお待ちしています。地獄も楽しいよ〜!



バナナには夢がある! 古い人か?



親子遠足は帽子も自由

定期活動 ★基礎調査 ちょびっと作業 12月13日(土) 8名で調査 ちょびっと作業

目的	市内	市外	場所	時間	気温【水温】	電気伝導 (EC)	PH
丸山	80	40	入口	10:00	7.4℃		
ハイキング・登山	55	82	第3湿原	10:30	7.9℃【7.3℃】	40.5 μ S/cm	5.8
散歩	15	7	視点場	10:44	8.8℃	36.9 μ S/cm	5.2
来場者数計 279 人 (竹筒ポスト集計)			第1湿原	10:55	10.3℃【5.8℃】	36.2 μ S/cm	5.5
			第2湿原	11:13	10.8℃【5.2℃】	37.2 μ S/cm	5.4

昨年はこの日から湿原内の作業を開始。今年もと考えていたのですが単純に忘れていました。ウ



ウメバチソウ 種散布中



駐車場でイノシシのウンコ



お昼近いがまだ薄氷が...



少し寂しさが ヒメアカネ

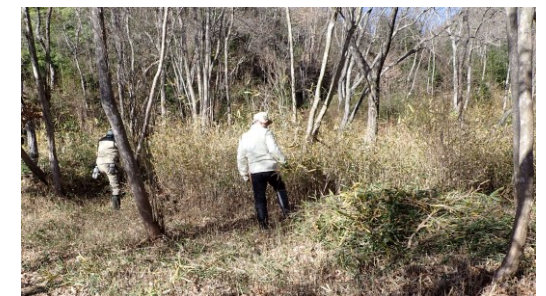
うか？冬場を迎え蒸散も少なくなってきました。乾燥が続くとはいえ安定した水量を期待します。お昼前ですが薄氷もまだ残っていました。耕された土の上にふらふらとヒメアカネ(姫茜)の姿も。もう最後に近い個体でしょう。ヤブムラサキ(藪紫)も美しく輝いています。次回からは本格的な刈り取り。ぜひご参加ください。

メバチソウの種が順調に飛散したのも確認しました。ヌマガヤ(沼茅)は少雨と暑さの影響か、丈が少し短いような。月末からは本格的な作業です。ところが、やはり第1湿原のイノシシ攪乱が度を越して畑状態に。これほど耕せるなら農家に1頭欲しいぐらいです。牛馬と違い制御不能かとは思いますが鋤も不要。頑丈な鼻で土を掘り起こす。何をメインに狙っているのでしょうか？ミミズもそんなにはいないはず。サギソウの球根？根？ただのストレス発散か？しかし、駐車場には人のモノとも見まごう立派なウンチが…。最初会員が見つけたときには紙まで捨てられていたので、てっきりこんなところで用を足されたと思いこんでいました。妙に詳しくなりますが、「硬い太い大きい」ので「我慢できなくなり駐車場で」は当てはまらない。やはりイノシシのモノと確定しました。匂いも少なく、植物性のお食事かと。雑食で動物も食べますがそのウンチは臭い！匂ったんか？触ったんか？という疑問が浮かんた方、そこは想像にお任せします。答えは「イエス」なんですが…。結構楽しいのは私だけでしょうか？イノシシが豚熱(豚コレラから改称)より復活し増えてきているというより、大きい1頭が荒らしている雰囲気でした。

データはPHが少し怪しい。低すぎるような。補正もできず機材のバッテリー不足が原因か。チェックしておきます。水が少しあるのが救いでしょう。



イノシシ作 見事な畑



皆さん作業が好きな様で 刈ります！



陽に輝くヤブムラサキの実